

「インフラDXコンペ」受賞技術が決定しました！

近畿地方整備局では、インフラ分野のDXに活用できる優れた技術を発掘し、技術開発を促進することを目的に「インフラDXコンペ」を実施いたしました。

コンペでは、3分程度の動画を含めたプレゼンテーションを行い、審査の結果、右記の優秀技術賞2技術、審査委員特別賞2技術が受賞しました。優秀技術については、近畿地方整備局が実施する事業において、技術を試行するフィールドを提供する等、NETIS登録に向けた支援を行います。

優秀技術賞

応募者名	技術の名称
鹿島建設(株)	遠隔操作システムを用いた重機オペレータのテレワークシステム
(株)大林組	画像によるコンクリートスラブ管理システム

審査委員特別賞

応募者名	技術の名称
飛島建設(株)	コンクリート中鉄筋の腐食状態を非破壊で測定する「Dr.CORR」
ニチレキ(株)	スマートスタビライザシステム(路上路盤再生工)



2023年度 インフラDXコンペについて  
はこちら  
[https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/dx/infra-dx\\_compe.html](https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/dx/infra-dx_compe.html)

ふれあい土木展2023を開催しました！

2023年11月10日(金)、11日(土)に近畿技術事務所において、「ふれあい土木展2023」を開催し、2日間で1455名が来場されました。近畿インフラDX推進センター内外でも5つのブースを設置し、建設業界の近未来をさまざまな角度から体験・体感していただきました。

近畿インフラDX推進センター内  
入場者数**311名**(2日間合計)

バックホウラジコン操作体験  
／近畿技術事務所

バックホウラジコンをリモコンで操作し、キラキラの宝石すくいに挑戦！無人化施工を疑似体験していただきました。



天ヶ瀬ダムVR体験 淀川ダム統合管理事務所

なかなか立ち入ることのできない、ダムのキャットウォークからの景色をバーチャル投影し、VRゴーグルで臨場感あふれる高さを体感していただきました。



ICT施工の普及・促進 一般社団法人 日本建設機械施工協会 関西支部



点群データの活用方法や最先端のICT施工についてご紹介。大画面モニターでのバックホウの操作シミュレーション体験は子供から大人まで大人気でした。

橋の点検VR体験 近畿技術事務所



普段なかなか見ることのできない橋の下に入り、現地実習に近いリアルな橋梁点検・診断をVRで体験していただきました。

淀川大堰閘門VR体験 淀川河川事務所

現在整備中の淀川大堰閘門。完成後の閘門を船に乗って通過する様子をVR体験していただきました。



近畿インフラDX推進センターでは、随時施設見学を受け付けております。ご興味のあるかたはぜひ、下記HPよりお申し込みください。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/application/index.html>

見学に際しての  
注意事項

- 施設見学は予約制です。見学ご希望日の1週間前までにお申し込みください。(ただし、土日祝日、年末年始は休館日となります。)
- ①9:30~10:30 ②11:00~12:00 ③13:30~14:30 ④15:00~16:00
- 業務の都合ならびに他の見学申込み状況により、見学日時のご希望にそえない場合があります。その他、詳しくはHP記載の注意事項をご確認ください。



近畿インフラ  
DX通信

編集・発行

国土交通省 近畿地方整備局  
近畿インフラDX推進センター  
〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11番1号  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/index.html>



バックナンバーはこちら  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/infradx-center/dx/index.html#dxtushin>



DX紹介 DXは「百聞は一見にしかず」まずは見て・触れて・体験を！  
大阪府

DX紹介 新宮地域におけるインフラDX広報の取り組み  
紀南河川国道事務所(新宮インフラDX推進センター)

情報発信 ●「インフラDXコンペ」受賞技術が決定しました！  
●ふれあい土木展2023を開催しました！

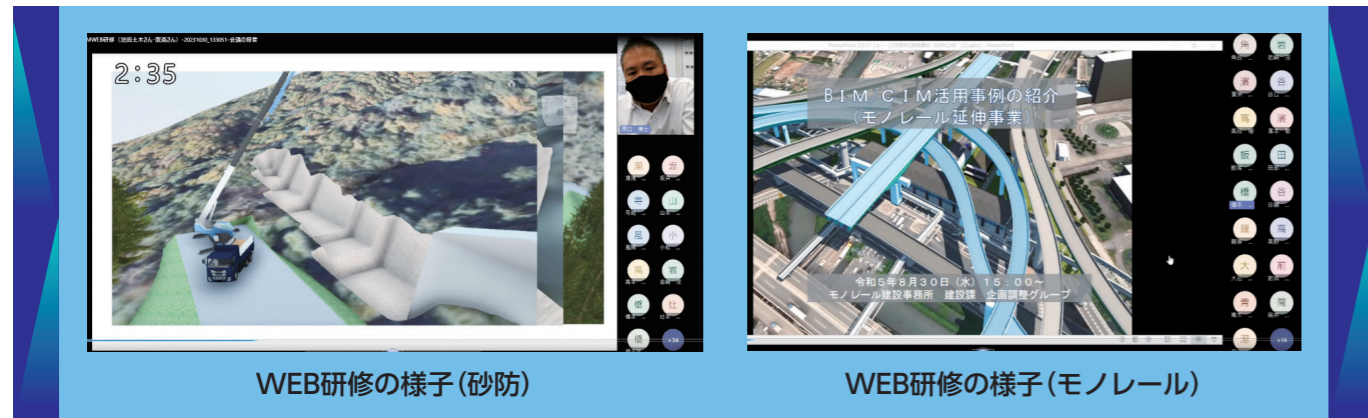
表紙写真：近畿インフラDX推進センター  
ふれあい土木展の様子

- <左上>天ヶ瀬ダムVR体験
- <左下>橋の点検VR体験
- <右上>バックホウの操作シミュレーション体験
- <右下>バックホウラジコン操作体験

# DXは「百聞は一見にしかず」まずは見て・触れて・体験を! 大阪府

## ◆大阪府におけるBIM/CIM普及への取組み

大阪府では、令和4年度国土交通省(本省)インフラDX大賞(優秀賞)を受賞したことを契機として、BIM/CIMをより一層推進するため、令和5年3月に国の新たな考え方を踏まえた方針・ロードマップを策定したところです。これらに基づき職員への普及促進を目的として概ね2か月に1回程度、まずは事例を一度見てもらうことを目的として、大阪府内での実施事例について発注事務所担当者が発表するWEB研修を実施しています。WEB研修のため職員が研修会場に向く時間を削減できるほか、自席のPCで視聴可能なことから、より多くの職員間で好事例を水平展開でき、職員のリテラシー向上に役立つと考えています。



## ◆大阪府下(市町村含む)におけるICT活用工事普及への取組み

ICT活用工事については、大阪府では都市部でも活用できる中小規模工事にも対応した工種の導入を進め、現時点で14工種の要領を運用しています。特に、舗装修繕工と小規模土工については、都市部においても一定の工事が見込める工種であり、大阪府の実施事例の市町村工事への水平展開も比較容易であることから、積極的に推進しているところです。

ただ、工事関係者(発注者・受注者等)の人材育成については、現時点では普及段階であり道半ばであるといえます。このため、大阪府では府内各地でICT活用工事の体験会を定期的に実施しており、施工者をはじめとした大阪府都市整備部発注工事関係者はもとより大阪府職員・府下市町村職員をはじめとした発注者職員も参加し、小規模土工や舗装修繕工のICT活用工事の体験を通じて各プロセスの理解を深めることによりICT活用工事の普及促進を図っています。

また、今年度からは小規模ICT活用工事をより身近に感じてもらえる発注者へのPRを目的として、市町村の下水道部局に焦点を当てたICT活用工事体験会を実施しました。

参加者の方々からは、「これまで見たことがなくイメージが湧かなかったが体験できてその効果を実感できた」や「市町村事業においてもインフラDXに取組みたい」などの声が聞かれました。

座学による講義も全体像を把握するのに重要ですが、実際に見て触れて体験する研修も大変重要であることを再認識しました。これからも引き続き大阪府下全体へのICT活用工事の普及促進を進めていきたいと思っています。



令和5年3月、紀南河川国道事務所新宮河川国道維持出張所内において、「新宮インフラDX推進センター」を新設しています。新宮地域のインフラDX推進に向けた広報の取り組みについて紹介します。

## ◆新宮地方建設業協同組合とのDX意見交換会の設立

令和5年10月18日、新宮地域のインフラDX推進に向け、新宮地方建設業協同組合との「DX意見交換会(新宮)」を立ち上げました。意見交換会では、「インフラDX概要・出張所の取組報告、新宮道路のVR体験、意見交換」を行いました。今後も継続的に意見交換会を開催していきます。

### 【開催概要】

日時：令和5年10月18日(水)  
13時30分～15時00分  
場所：新宮河川国道維持出張所  
(新宮インフラDX推進センター)  
参加者：新宮地方建設業協同組合12名



新宮道路VR体験状況



インフラDX概要・出張所取組の説明状況



DX取組事例の説明

### 【参加者の感想・意見】

- DXとはそもそもどのようなことかも分からなかったが、意見交換会を通じて、DXの概要・主旨や考え方、目指している方向などについて、一定理解することができた。
- 今後、現場サイドでもDX活用を意識しながら、見識を深めていきたい。

## ◆インフラDX出前授業

新宮地域のインフラDXに関する認知度向上、および、建設業界の担い手確保に寄与するため、小中学校の学生を対象とした出前授業を実施し、一定の理解と興味を持ってもらいました。



10/3成川小学校(紀宝町)



11/1新翔高校(新宮市)



12/6熊野川中学校(新宮市)

新宮地域におけるインフラDX広報の取り組み  
紀南河川国道事務所(新宮インフラDX推進センター)